



《 8 / 23 除草作業・資源物回収を行いました！！ 》



8月23日（日）に除草作業と資源物回収に取り組みました。例年であれば、夏休みの後半の日曜日ですが、今年は8月20日が2学期始業日でしたのですでに学校がスタートした中での活動でした。新型コロナウイルス感染防止のため、5月に行っている体育会前の除草作業が中止となり、今年度初めての作業でした。6月12日（金）の早朝に久山町商工会の皆様を含むボランティアグループによる草刈りを行っていただいていたとはいえ、敷地内は草が生い茂っていました。連日の猛暑により熱中症の心配もありましたが、保護者が刈った草を生徒が集めていくという活動を約1時間という短時間で集中して行いました。また、194名というたくさんの保護者の皆様にもご協力いただき、たくさんの草を刈ることができました。保護者の中には小学校の除草作業が終わった後に、続けて中学校に来ていただいた方もおられました。皆様のご協力に対し、本当に感謝いたします。生徒の皆さんも暑い中よく頑張っていました。お疲れ様でした。

また、除草作業のあと各部友に移動し、資源物回収を行いました。こちらも今年度初めてということで地域の方々からたくさんの資源物提供のご協力をいただきました。

すこし前であれば、どの地域でも行われていた除草作業や資源物回収。だんだんと活動が無くなってきているようです。親子や地域とのつながりがあるからこそ取り組める活動です。今後も続けていきたいと思えます。

《 3年生マナー講習会を行いました！！ 》



3年生は、9月1日（火）5. 6校時に、麻生情報ビジネス専門学校よりキャリア支援本部教育部長 徳久晶子様を講師として招き、マナー講習会を行いました。この取組は毎年行っているものです。今年度は中止となりましたが、3年生では職場体験を行っています。中学生ではありませんが、社会人としてのマナーを心得たうえでの活動になるようにしています。また、これからは高校入試における面接や就職時に行われる面接においても必ず必要となるものです。その内容として徳久先生は、マナーとは①相手に迷惑をかけないもの、②相手に良い印象を与えるもの、③相手に敬意を表するものである。また、自分がやっているつもりではいけない、相手はどう受け取るのかで決まる、とおっしゃっていました。自分ではやっているつもりでも、相手が嫌な気持ちになったり、伝わってなければやっていることにはなりません。これまでに書いた挨拶も、自分ではやっているつもりでも相手に聞こえなかったり、態度が悪いと相手が受け取ってしまえば、せっかくやっている挨拶も印象が悪いものになってしまいます。自分の気持ちではなく、相手の気持ちを考え、1ランクアップした挨拶になると良いと思えます。また、マナーというものは、いちど聞いただけでは身につきません。日頃の生活の中で常に心がけて行動することで習慣となり、自然体でできるようになります。入試の時だけでなく、今から行えると良いですね。1. 2年生も直接はマナー講習会を受けてはいませんが、日頃からきちんとしたマナーを心がけて行動していきましょう。

久中ボランティアメーター

9月3日現在のボランティア参加者

380名